

クロルピクリン錠剤は、土壤消毒効果で信頼の高いクロルピクリン液剤を特殊な方法で固形化した錠剤タイプの土壤殺菌・殺線虫剤です。

外包装を開封した際は、必ず全量を使いきってください。

●成分および形状

有効成分：クロルピクリン・・・・・・70.0%

その他成分：ゲル化剤等・・・・・・30.0%

1錠重量：4g(直径2.5cm 厚さ0.5～0.6cm)

包装形態：1錠ごとに、ガス不透過性・水溶性のPVAフィルムで真空包装(内装)し、さらにこの内装された錠剤をガス不透過性フィルムを用いて減圧包装(外装)しています。なお、種類はバラタイプ100錠入りと400錠入りがあります。



外包装：ガス不透過性フィルム

外箱：ダンボール箱

100錠入り：4g×100錠×20袋

400錠入り：4g×400錠×8袋



内包装：水溶性PVAフィルム

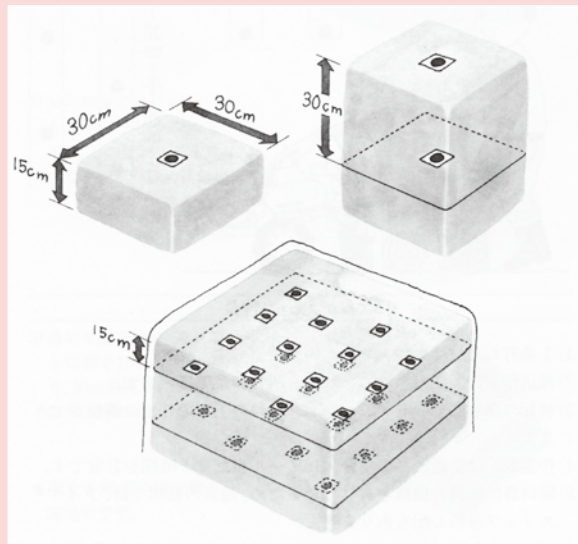
有効成分：クロルピクリン70.0%

その他成分：ゲル化剤等30.0%

1錠の重量：4g

クロルピクリン錠剤の床土・堆肥の消毒処理方法

床土処理法(サンドイッチ方法)



適度な湿り気を与えた床土、堆肥を15cmの高さに積み、30×30cm毎に1錠ずつ内包装のまま地表面に置きます。その上に30cmの高さに床土を積み上げ、同様に錠剤を置きます。これを繰り返し最上層に15cmの高さに床土を積み、ポリエチレン・ビニールシート等で被覆します。

平面処理法(高さ30cm)



適度な湿り気を与えた床土を高さ30cm程度に広げ、1m²当たり10錠を30cm×30cmになるようバラ撒き、管理機等で混和を行いポリエチレンシート等で被覆します。

■使用上の注意事項(抜粋)

- クロルピクリン錠剤に使用している包装は水溶性のため、濡れた手で作業しないでください。
- クロルピクリンは催涙性の刺激を有し、目、のど、鼻を刺激するので注意してください。ガスが眼に入りひどく痛む時は、多量の水でよく洗い、速やかに眼科医の手当を受けてください。
- クロルピクリンは、皮膚に対して強い刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い流してください。
- 作業中及びくん蒸中の圃場へ小児等作業に関係のないものや家畜、家禽が立ち入らないように十分注意してください。

- 拡散ガスによる危被害を防止するため、本剤処理後は必ずポリエチレン等で被覆してください。特に住宅周辺での使用に当たっては、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮してください。
- ハウス等で使用する場合には、出入り口、天窓、側窓等を開けて通気を良くして作業を行ってください。作業後は直ちに密閉し、臭気が残っている期間にはハウス内へ入らないでください。くん蒸後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- クロルピクリン錠剤処理前にアルカリ肥料、特に消石灰を施用すると作物に葉害を生じるおそれがあるので、これらの肥料は、ガス抜き後に施用するか、またはクロルピクリン錠剤処理の10日以上前に施用してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●人家、畜舎、鶏舎周辺での使用に当たっては、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮してください。 ●保管するときは、鍵のかかる冷暗所に保管してください。

南海化学株式会社

東京支店：〒110-0015 東京都台東区東上野2丁目18番10号 上野ビル9階 TEL:03-5817-5851
土佐オフィス：〒781-8010 高知市棧橋通4丁目10番1号 TEL:088-831-6191

いちご・トマト等の高設栽培

トマト等の養液栽培

クロルピクリン錠剤による 培地消毒方法



■クロルピクリン錠剤の特長

- 培地内の少しの水分で錠剤のフィルムが緩みガスが放出拡散されます。
- 比較的短期間で消毒が可能。
ハウスを密閉、高設架台をシートで被覆するので高温が保たれる。(夏季：約10日間・秋冬季：約2週間)
- 安定した防除効果を発揮。

培地消毒・床土消毒

NANKAI
chemical

クロルピクリン錠剤によるいちご・トマトの高設栽培での使用方法

(使用している写真は分かりやすいように錠剤を表面に置いています。実際の処理時は覆土をしてください)

1 処理方法

- 培地に30cm×30cm毎に錠剤(1錠)を土が被る程度に埋め込み、ポリエチレンシート等で被覆する。
- 培地表面は白く乾いた状態が望ましい。
(培地内の水分は10%以下、培地は湿り気程度が良い。)
- 発泡スチロールには錠剤が触れないように注意すること。



2 培地内の灌水方法

錠剤を処理するとき培地は乾燥状態で、錠剤処理をしてシートによる被覆後に灌水する方法



灌水チューブを設置し、被覆後、高設架台1mに1ℓの割合の灌水を行う。(培地が乾燥状態の場合。)
錠剤のフィルムは、湿り気で緩みガスは放出されるので過剰な水分にならないように注意する。
防除効果を高めるためには、培地内の水分を少なくしてガスの拡散を高めることが重要です。

錠剤を処理する前に灌水して培地内に適当な湿り気を与えておく方法



事前灌水は、夏季高温時のように培地の乾きが早い時に適している。
薬剤を処理するまでに培地の表面は白く乾いた状態になるようよく乾燥すること。

3 培地の種類

ヤシ殻・杉皮・ロックウール・バーミュクライト・ピートモス等の培地と培土での事例があります。



ロックウール



ヤシ殻



杉皮

4 被覆方法

被覆シートは、ポリエチレンシート等を使用する。厚さは0.03mm以上のシートが望ましい。
被覆は、クロルピクリンのガスが高設架台の底部から散逸しないよう床面まで覆うこと。
高設架台の円周が90～95cmの場合は、1m35cmの幅のシートを採用してシートの両端を重ね包みにしてホッチキス等で留める。
高設架台の支柱部分の被覆はシートを緩めダブリを入れて被覆する。
(シートの長さは架台の長さの2割以上の余裕が必要です。)



5 被覆期間

夏季高温時は約10日間程度で、ガスは被覆シート等を通して抜けていく。
秋冬季は右図のくん蒸期間でガスは抜けますが天候が悪くガスが抜けないおそれがある時は、くん蒸期間が過ぎてから被覆を除去してガス抜きを行う。ガスが抜けたことを確認して定植をする。

■標準的なくん蒸期間

平均地温	くん蒸期間
25～30℃	約10日
15～25℃	10～15日
10～15℃	15～20日
7～10℃	20～30日

※気象条件や土質等によっては、標準的なくん蒸期間よりも長くなることも考えられますので、注意してください。

6 くん蒸後の錠剤の形状残存

乾燥気味で処理をするので未溶解のフィルムが残存する場合があります。クロルピクリンが抜けたあとの錠剤は小さな黒色カスとなって残ります。
いずれも生育には問題ないです。



7 定植時の灌水

培地内は乾燥状態となる場合があるので灌水はベット深部にまで十分に行う。



クロルピクリン錠剤による トマトの養液栽培 での使用方法



1 養液栽培のトマト。



2 培地
幅:30cm・厚さ:7cmの碎片状のロックウール、灌水チューブ2本。



3 前作のキューブ状のロックウールの間に錠剤を置いていく。
(約40cm間隔)



4 シートで培地を包み、ホッチキスで留める。上部は重ねて折り返し留める。完全密封。



5 培地の長さ1m当り水1ℓを灌水。